

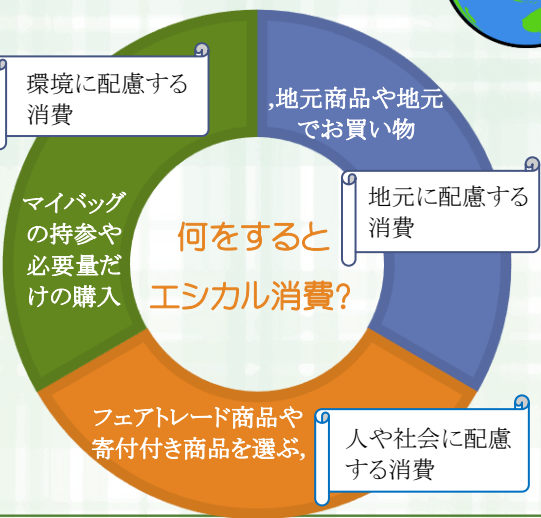
環境ミニ知識

新聞、テレビ、ニュースなどで見聞きするけれど、あまり知らない「言葉」や「現象」について少し知ってもらえたらいいな！と、ミニ知識を紹介するコーナーです。



「エシカル消費」って？

近年よく耳にする「エシカル」という言葉。直訳すると「倫理的な」という意味ですが、「エシカル消費」として使われる場合の「倫理的な」と、私たちが理解している「倫理的な」意味とは若干違うようです。私たちがそれぞれが、それぞれにとっての社会的課題の解決に考慮した消費行動や、そうした課題に取り組む事業者や生産者を応援するような消費活動をする事です。



ちょっと知っとこ「DX」「GX」

ニュースなどで見聞きしたことがあると思いますが、デジタルトランスフォーメーション略して「DX」が注目を集めています。意味は「ITによって業務や生活を改革する」という事です。なぜDTとはならずDXなのか？実は「トランス」ということばが「クロス」即ち「交差する」という意味なので、略して「X」と書かれることに起因しているのです。では「GX」は？答えは「グリーン・トランスフォーメーション」。今年夏、脱炭素社会の実現のため、「GX」を関係省庁一体で進めるため、「GX 担当相」新設方針が発表されました。

ひとこと



「コロナ」に関するニュースは、「もううんざり！」とは思いますが、少し触れさせていただきます。昨年の 8 月、コロナ感染者がでて大変ご迷惑をおかけしたと報告しましたが、今年も 7 月にまたコロナに感染しました。幸い今回は若干の発熱のみで症状も無く 10 日間の自宅療養で復帰しました。「2 回もかかったからスーパー抗体ができてる」なんて冗談を言っていますが、さてこのコロナ、この先どうなるのか……。政府も「ウイズコロナ」に向けた新型コロナウイルス対策の全体像を打ち出しましたが混乱も出ています。いづれにしても健康には気を付けたいものです。㊦

ひらかた環境ネットワーク会議 会報「環境ひらかた」第 75 号

令和 4 年 10 月 1 日発行（年 4 回発行）

発行：（特活）ひらかた環境ネットワーク会議

〒573-0042 大阪府枚方市村野西町 5 番 1 号

サブリ村野内（旧村野小学校）

電話 072-847-2286

FAX 072-807-7873

E メール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <https://hirakata-kankyou.net>

発行責任者：井上 浩一 編集責任者：丸井 晶子

この発行誌は再生紙を使用しています



市民・事業者・行政が協働し 環境先進都市を実現する ひらかた環境ネットワーク会議 会報誌

NO. 75
秋号
令和 4 年
(2022 年)

環境ひらかた



環境ミニ講座 「天の川を遊ぼう」に インターン生も参加！



8 月 20 日、親子イベント「環境ミニ講座“天の川を遊ぼう”」を定員一杯、20 組の親子の参加で実施しました。今回のイベントでは、サブリ村野で危険を回避するための「安全講習」の話の後、天の川に行き 5 分間のゴミ拾いをしました。そしていよいよ川に入っの“活動”です。網で魚を捕まえたり、川原に生えているヨシでヨシ舟レースをして遊びました。まだまだ遊び足りない様子の参加者たちでしたが、時間になり終了となりました。今回、講座を実施するに当たっては、4 名のインターン生はじめ、スタッフ会員 3 名が協力してくれました。終了後の感想では「楽しかった」「川の水が意外にキレイだった」などの声が聞かれ自然環境保全意識に繋がったのではないかと感じられました。



****目次****

環境ミニ講座にインターン生も参加！	P 1
インターン生 5 名研修を終えて	P 2・3
環境ミニ講座・ティールーム報告	P 2・3
部会報告	P 4・5
お知らせコーナー	P 6
環境トピック VOL. 41	P 7
環境ミニ知識	P 8



環境トピックス Vol. 41

今夏もインターン生5名を受け入れました

既にご存知のように、環境ネットワーク会議では“春”と“夏”の年2回、2週間(実質10日間)関西外国語大学、龍谷大学、そしてNP0法人ドットジェーピーの3者から学生を受け入れています。インターンシップの受け入れは、「人材育成事業」として位置づけ、次世代を担う若者にしっかりと環境意識を持ってもらいたいとの思いで取り組んでいます。今夏のインターンシップを終えた学生たちの感想を紹介します。



龍谷大学国際学部
国際文化学科
鄭 叡智

夏休みに2週間インターンをしました。

多くの市民との会議やミニ講座を通じて、枚方市民の環境問題意識について話し合う機会が多くて良かったです。そこで気づいたのは環境問題意識が高いとしても、行動につながらないことは少なくないということが分かりました。このような実態を解決するために他のインターン生と一緒に話し合い、いろんな企画を考えましたが、意外と複雑で予算、スケジュールなど現実的に多方面で考えなければならないということが分かりました。個人的に残念だったところは、もし私が環境についてももう少し経験と知識があるなら、今回立てた企画案より質の良い方策が出てきたのではないかと思います。

インターンシップで約2週間お世話になりました。

短い期間でしたが、環境ミニ講座やミーティングへの参加など貴重な経験を沢山させていただき、本当に濃い時間を過ごすことができました。インターン生同士で話し合っって企画書を作成しましたが、企画書を完成するまでの道のりの長さや考えを文章化することの難しさを実感しました。しかし、ひらかた環境ネットワークの皆さんから沢山のアドバイスや意見を頂き、最終的に1つの企画書を完成させることができました。インターンを通じて地球温暖化に対する知識や環境への問題意識が高まったと感じます。

ここで学んだ事を今後の学校生活や就職活動に活かしていきます。



龍谷大学国際学部
国際文化学科
塚本 ちひろ



6/30 「七夕スイーツ」づくり



「エコクッキング」って何だろう？という事で、今回は季節の物、地場の物を使って、エネルギーもあまり使わないでスイーツを作ってみました。地産地消と省エネ！まさにエコクッキングでした

私達を取り巻く環境は日々変化しています。最近の環境問題や、環境に関する事柄について「知ってほしい・知らせたい」情報などをこのコーナーで伝えていきます。

今回は、「パキスタン国土の3分の1が水没」「待ったなしの温暖化対策」の問題です。

◆パキスタン国土の1/3 水没と長江の干ばつ

ニュース等の報道で既にご存知だと思いますが、パキスタンの各州で大洪水が発生しました。原因は、今年6月以降のモンスーンに伴う大雨とそれに追い打ちをかける北部の山間部の氷河融解です。これにより国土の3分の1が水没したと報じられています。

パキスタン国家災害対策当局は、記録的な洪水による6月14日～9月3日までの死者が1282人に達したことを明らかにしました。

シャリフ首相は、「この大洪水の原因の一つである氷河の融解は、紛れもなく温暖化の影響によるもので、温暖化の原因であるCO₂排出量1%以下の国がなぜこのような被害を受けなければならないのか。」と、世界に向け支援を訴えました。

その一方中国では、7月以降、1961年の観測開始以来最も強い熱波に襲われ、連日高温が続く、降水量も例年の半分程度(8月17日時点)と報じられています。長江の歴史的な水位低下で水力発電が減少、電力不足に陥っているとのことですが、16万人を超える人々の飲料水も不足、農作物や家畜の被害も甚大で、命の危機にさらされている状況が見られます。

こうした干ばつについて、国際研究チームは初めて「地球温暖化がこのまま進めば、今世紀半ばまでに前代未聞の大干ばつが長期に続く自体が世界各地で発生する」という予測を発表しました。



<国土の3分の1が水没したパキスタン>



<干上がった長江>

◆待ったなしの温暖化対策

今年日本では、6月から異例の猛暑が続く「電力逼迫」「節電要請」や「渇水警報」などが出されました。一方シベリアでは過去最大の森林火災が熱波により起きています。IPCCは「50年に1度の熱波」が4.8倍に、「農業や生態系に打撃を与える干ばつ」が1.7倍になったと報告しています。温暖化対策はもう待ったなしのところまで来ているのです。



お知らせコーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせはひらかた環境ネット会議事務局までご連絡ください。 ☎072-847-2286

「環境ミニ講座」「環境ティールーム」下半期予定が決まりました



「環境ミニ講座」の下半期の予定が決まりました。春休みの子供向け親子講座や、毎回好評のエコクッキング、そして見学会も予定しています。

また今年度の「環境ティールーム」は「みんな知っとこ 今地球で起きていること」をメインテーマに、8回シリーズで開催しています。上期3回が終了し、下期5回にわたって開催します。下期最初のテーマは、「緊急課題 地球温暖化の臨界点は避けられるか!」です。詳しくはH・Pをご覧ください。

自然エネルギー学校 2022 のお知らせ

自然エネルギー学校 2022 は、9月26日のシンポジウムに続き下記の通りマイクロバスで行く見学会を実施します。詳しくはチラシあるいはH・Pをご覧ください。

記

日時：10月19日(水) 9:00~17:00 集合・解散場所：サブリ村野
参加費：無料 定員：16名
見学場所：枚方市大型太陽光発電施設「ソラパ」

及び滋賀県比良山ふもと「ピコ水力発電施設」

※車中では再生可能エネルギー100%自治体に関する話や、ピコ水力導入施設についてなど盛りだくさんの情報を用意しています。

環境情報コーナーに子どもクイズコーナーが誕生

遊びながら楽しく環境のことを学んでもらおうと、この夏、環境情報コーナーに“クイズコーナー”を設けました。インターン生たち5人が「問題はどんなのがいいかな」「どんな言葉を使えばわかってもらえるかな」等、時間をかけて話し合っ、4つのクイズを考えてくれました。中身が決まればどのようにレイアウトするか？目を引く可愛い出来上がりとなりました。一度見に来てみませんか？

*書籍コーナーに「こどもSDGs」「気候変動対策と原発・再エネ」2冊の新刊が加わりました。



私は、夏休み中にひらかた環境ネットワーク会議のインターンシップに参加させていただきました。インターンシップではリサイクル工場の見学など普段できないような体験も多くあり、様々な観点から環境問題についての理解を深め、考えることが出来ました。環境に関するイベントの企画書作りでは、どのようにすれば人々の環境問題に対する意識を高められるのか、人々の立場に立って考えながら企画を進めていくことが重要だと感じました。これからはこのインターンシップで得た知識や経験を将来に生かしていきたいです。



関西外国語大学
英語国際学部英語
国際学科3年
小川 千晴



関西外国語大学
外国語学部スペイン
語学科3年
阿部 珠満希

インターンの参加を志したきっかけは、グローバルイシュー解決のために働きたいと思ったことにあります。活動する中で、環境問題は喫緊の課題であり、一人ひとりが即行動する必要がある痛感しました。海洋ゴミ問題のイベント企画書作成中は、行き詰まった時もありましたが、職員の方のご指導のもと、なんとか形に出来ました。今後は問題意識をさらに強く持ち、市民と共同して地域や環境に関する諸問題を解決する人材になりたいと思います。

私は、所属している学部が環境に関連していることもあり、この夏、環境問題にじっくり触れることを目標としていました。自分一人では考えるのが難しい問題もインターン生との話し合いの中でより深掘りして考えることができました。また、ひらかた環境ネットワークの会員の方によるディスカッションで、一人一人の方が環境に対する意識が高く、そこから様々な知識を得ることができて楽しかったです。今回の活動を通して環境問題について知ることができ、個人的な課題であった主体性を少し身につけられたように思います。これから生きていく中で議論や話し合いはたくさんあると思うので、筋が通っているように思う意見には積極的に発言していきます。短い期間でしたが貴重な経験ができてよかったです。



関西学院大学
生命環境 生命医科
太田 和寿

◆◆ 環境ティールーム 報告 ◆◆

6月16日

「世界的水不足 日本の水源が危ない!!」をテーマに、地球上で、0.001%しか利用できない水を取り巻く状況、そしてバーチャルウォーターについて等、お茶をいただきながら学び合いました。



7月14日

「風力発電の今 日本の巻き返し」をテーマに世界で大きく伸びている風力発電と日本の現状について知り、いろいろと話しました。





部会活動紹介

ひらかた環境ネット会議では、それぞれテーマごとに部会を結成し、主体的に活動を行っています。

環境教育部会

環境教育推進に向け 教育委員会と意見交換をしました

去る9月6日、教育委員会との意見交換の機会をいただき、部会から2名、事務局1名の3名で訪問してきました。教育委員会からは、岩谷副教育長をはじめ、教育指導課長、教育研修課長の4名がご出席くださいました。意見交換に先立ち“環境出前授業”の中間報告という事で、9月までの実績(依頼件数18件)について、持参した資料に沿って報告しました。

その後、環境教育についての考え方、特に各教科と関連させた環境教育の重要性や、そのことに対する教職員の理解の必要性など

について踏み込んだ形での意見交換となりました。

最後に教育委員会が現在構築中のポータルサイトへの登録の提案を受けました。今後はこれらも活用しながら、更に、連携・協力が図れればと思っています。

1時間ほどの限られた時間でしたが、非常に有意義な意見交換の場となりました。



公共交通部会

好評だったバスバックヤードツアー

令和4年8月20日(土)21日(日)、将来の利用者である子どもを対象に、バスの魅力や乗り方などを紹介し今ある公共交通サービスを維持していけるよう、市内の小学生がいる親子を対象として「バスバックヤードツアー」を実施しました。このイベントは、京阪バス(株)枚方営業所で普段体験することのできない“バスの非常口からの脱出体験”や

“バスに乗ったままの洗車体験”さらに整備棟でのバスリフトアップ、車椅子対応、そして運転席で運転士の制服制帽着用での写真撮影など、盛りだくさんの内容に加え、最後には営業所から“記念物差し”をプレゼントしてもらい、営業所をあげての歓迎に、参加者は充分楽しんでいただようでした。



温暖化対策チーム

ポスター掲示に向け準備スタート！



環境ネットワーク会議には現在4つの部会があることは皆さんご存知のことと思います。ではこの「温暖化対策チーム」があることはどうでしょう？

温暖化対策に特化した活動をしているプロジェクトチームです。今回カーボンニュートラル社会実現のための啓発ポスターを作りました。家の前に貼ってもいいよという方、是非お声がけください。

自然エネルギー部会

「目標 1.5℃ 以内！

必ず達成するんや!!」と意識しましょう

ヨーロッパを中心として全世界でエネルギーの安定供給が揺らぎつつあります。そのような状況をうけ、化石燃料を使う火力発電所の増加、持続可能性のない原子力発電所の導入・拡大の動き等が目立つようになってきました。このことは、球温暖化を抑えるCO2削減行動に大きな影響を与えることになり、結果、気温上昇を「産業革命前から1.5度以内に抑える目標(パリ協定)」を実現できるか否かの瀬戸際に追い込んでいるとも言われています。

しかし、見方を変えたならば、私達にとっては「再生可能エネルギーの導入拡大や導入計画の前倒しの機会」や「私達自身の電力、ガス等の更なる節減や4Rの取組等を加速する」といったチャンスに直面したのかも知れません。

私達一人一人の行動がより重要となってきた現状を踏まえ、当部会では、「食卓に上がる魚や野菜の種類の変化」を通じて地球温暖化の脅威を考える講演会を開催(9月26日)。また自然エネルギーの中でも地域ベースロード電源として期待されている「小水力発電」を知る機会を設けました。(見学会10月19日実施予定。詳細は別紙チラシ参照)

「1.5度以内目標は必ず達成するんや!!」との意識を維持し、さらに行動の参考としていただくためにも、是非ともご参加いただければと思っています。皆さんのご参加をお待ちしています。

